

平成29年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	答弁者	再質問	再質問の回答
1	1	岡部中学校	後榛沢地域の事故多発箇所の信号設置について	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年、後榛沢の交差点で事故にあいました。 ・交差点はとても見晴らしの良い場所でしたが、地域の方に聞くと多くの事故が起きているそうです。 ・現在、止まれの際の標識は設置されていますが、事故防止には信号が効果的だと思います。 ・後榛沢地域の事故多発箇所に信号を設置してみたいか教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信号機については、交通量や道路環境などから警察が必要性を判断し、設置します。 ・市で設置することはできませんが、皆さんの要望に基づき、特に危険性が高い場所については早期設置に向けて積極的に働きかけるなど、今まで以上に警察と連携していきます。 	道路管理課	都市整備部長	—	
2	3	上柴中学校	自転車利用のマナーアップについて	<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通法改正により自転車に関するマナーが厳格化されましたが、未だに多くの人が違反をしている様子を目にすることがあります。 ・中学生は交通安全教室等において自転車の交通マナーを学ぶ機会がありますが、社会人になると自転車についてのルールやマナーを改めて学んだり、考える場がなくなってしまうと思います。 ・一般の方を対象とした自転車利用のマナーアップのための取り組みを行った方がよいと思いますが、市では現在そのような取り組みを行っていますか。 ・また、今後、行う予定などはありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の幼稚園、保育園、小中学校での交通安全教室や高齢者を対象とした自転車教室、道路利用者の方々への街頭等での交通安全キャンペーン、地域における幅広い年代層を対象とした交通安全教室等を行い、交通安全の教育・啓発を行っています。 	道路管理課	都市整備部長	—	
3	5	南中学校	不審者の増加問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、学校のまわりや深谷市内で、1ヶ月の間に何件もの不審者が目撃されたという情報が増えています。 ・登下校時はとても怖くて、いつ遭遇してもおかしくないの、薄暗い帰り道などは心配です。 ・深谷市では、そういった不審者の対応は何かしていますか。 ・また、もし遭遇した場合、どのような対処をしたらよいですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、警察署と連携しながら、地域の方々や協力し、市民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に取り組んでいます。 ・各小中学校では、スクールガードリーダーなどの皆さんに協力をいただき、児童・生徒の登下校時の見守り活動を行っています。 ・不審者対策として、警察署、自治会、市で協定を結び、犯罪や不審者に関する情報を、防災行政無線や携帯電話メール配信でお知らせしています。 ・学校を通じて登録された保護者の皆さんに、携帯電話のメールでもお知らせしています。 ・不審者に遭遇した場合は、「いかの・お・す・し」を活用し、普段から、「自分の身は自分で守る」ことへの意識を高めてください。 	自治振興課	協働推進部長	—	
4	7	豊里中学校	深谷ねぎの継承への取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の農業ばなれ、農家の方の高齢化が進み、空いている畑も見かけるようになりました。 ・深谷ネギというブランドを未来に残していくためにも、農家の戸数を増やしていく必要があると思います。 ・例えば、「小中学校で特産物の栽培体験」や「農業を始めようとしている人に重機の貸し出しや栽培へのアドバイス」を行う取り組みをしてはどうでしょうか。 ・現在、農業に関してどのような取り組みがされていますか。また、どのような取り組みをしていこうと考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市が行っている若い世代の農業後継者を増やすための取り組みとしては、農業体験の事業に取り組む小・中学校に野菜の苗や肥料などを配布するほか、新たに農業を始めたいという方に対する相談窓口を設置し、農地を探す手伝いや栽培技術を身に付けるための研修先農家を紹介するなど、必要な支援を行っています。 ・また、耕作されない農地を減らし、貴重な農地の有効活用を図るため、昨年度から「農地中間管理事業」に取り組んでおり、現在、市内の2地区で事業を進めています。 ・市内には、頑張っている若い農家の方もたくさんいます。今後も若い農家の方が頑張っている姿や農業の魅力を様々な機会にて発信していくとともに、各農協や関係機関とも十分連携を図りながら、将来の深谷の農業を支える若い世代の農業後継者の確保に努めていきます。 	農業振興課	産業振興部長	—	
5	9	藤沢中学校	深谷市の保育園の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市の保育園の現状について教えてください。 ・待機児童がおらず、保育園に入れる状況なら「子育てがしやすい深谷市」をもっとPRし、人口を増やす取り組みを行ってほしいです。 ・待機児童がいるのなら、子どもを預けられる環境を増やしたほうがよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月1日現在、待機児童は2人います。 ・待機児童解消のための取組として、安全面などを考慮しながら、できるだけ多くの子どもたちを預けられるよう保育園とも調整しています。 ・少子化対策を目的に、第3子以降の子どもの保育料を無料としています。また、子育て世帯の経済的支援として、医療費の無料化を高校生まで拡大予定です。 	保育課	こども未来部長	—	
6	11	深谷中学校	図書室に魅力的な本を増やすことについて	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷中学校では、本の貸し出しを増やす取組を広報図書委員会を中心に進めています。 ・興味が多様化してくる中学3年生くらいになると、興味を引く分野の本が図書室に少なく、本を借りる機会が少なくなってきました。 ・市立図書館は蔵書が多く、興味を満たすような本が多いので、学校の図書室で借りられれば、中学生が利用しやすく、本の貸し出し数が増えることにつながると思います。 ・市立図書館の本を、学校の図書室に貸し出すような取り組みができないか検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市立図書館では、団体貸出を行っており、個人の貸出では、2週間以内の貸出期間で10冊まで借りられますが、団体貸出では、3カ月以内の貸出期間で50冊まで借りることができます。 ・市内の学校でも利用している例があります。 ・図書担当の先生や図書館補助員に相談してください。 ・市立図書館は、開館時間は午後7時までとなっています。学校図書館と市立図書館の両方を上手に活用してください。 ・市として、学校図書館、市立図書館の連携を密にし、その充実、支援に努めてまいります。 	学校教育課	教育部長	—	
7	13	幡羅中学校	深谷市のPR方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆるキャラグランプリ2015で3位を獲得した「ふっかちゃん」は、グランプリを卒業し昨年からエントリーしていないと知りました。 ・グランプリではない別の方法をとり、ふっかちゃんをどのようにしてPRしていくのか、「ふっかちゃん」ではない何かを使って深谷市をPRしていく方針を考えているのか教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆるキャラグランプリ卒業後も、ふっかちゃんは年間400件から500件程度の行事や催しに出演し、PRをしています。また、ツイッターやインスタグラムなどのSNSには、延べ8万人以上の方がフォロワーになっていて、これらSNSを活用して、ふっかちゃんや市のイベントなどのPRを行っています。 ・昨年4月から、深谷市のラジオ番組「5分でわかる まるっと深谷」をFM NACK5でスタートさせ、毎週月曜日に深谷市のPRを行なっています。 ・今年3月には、深谷市の魅力を伝えるホームページ「深谷市魅力発信ポータルサイト」を開設し、深谷市のリアルタイムな情報を発信しています。 ・今後も、ふっかちゃんを活用しながら市のPRを行っていきます。 	協働推進課	協働推進部長	—	

平成29年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	答弁者	再質問	再質問の回答
8	15	明戸中学校	2019年ラグビーW杯日本開催について	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年ラグビーW杯は、深谷市でも盛り上がるのではないかと期待しています。 ・深谷市では関連イベントや取り組みなどは行われますか。 ・2019年には、今よりもっと地域や社会に関わり、いろいろな活動をしたいので、ラグビーW杯に関わることができたら嬉しいです。何か計画があれば教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連したイベントなどについては、昨年度、「深谷ラグビーフェスティバル」事業を実施しています。事業内容は、タグラグビー指導者養成講習会やタグラグビー交流会、公民館でのラグビー講座やスーパープレイ鑑賞会を行いました。内容等を見直しながら開催年度まで実施したいと考えています。 ・「ラグビーW杯に関わりたい。何か計画があれば」については、国や県を中心に準備しています。県ではラグビーW杯だけでなく、翌年の東京オリンピック・パラリンピックも一体となったボランティア育成を計画しており、大会運営補助の「大会ボランティア」のほか、駅、観光地、商店街などでてもなす「都市ボランティア」を約5,400人募集予定です。積極的にご参加ください。 	生涯学習スポーツ振興課	教育部長	—	
9	17	東京成徳大学 深谷中学校	東京オリンピックについて	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックの経済効果は28.9～36兆円とも言われています。 ・深谷市は東京オリンピックで来日する外国人観光客招致に向けてどのような取り組みを行う予定ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市はバレーボール競技のキャンプ地に立候補しています。練習会場はビッグスタートとパティオです。すでにオランダの視察受け入れや中南米諸国大使館レセプションへの参加など積極的に交渉を行っています。 ・市内宿泊施設や医療機関のほか、県内Vリーグチーム「上尾メディックス」もキャンプPRとキャンプ時の練習相手として協力を予定しています。 ・外国人観光客招致については、「深谷まつり」や「深谷花火大会」などの歴史と文化の情報発信、実際に文化に触れる座禅・着物・和食・日本酒などの体験イベント、「ふかやブランド」などで消費につなげる取り組みを展開します。 	生涯学習スポーツ振興課	教育部長	—	
10	19	花園中学校	国内交流・友好都市について	<ul style="list-style-type: none"> ・田野畑村以外の友好都市や国内交流を行っている都市がありますか。 ・交流のある都市の小中学生との交流ができる事業はありますか。 ・被災地の人々との交流やボランティアを通しての交流もできるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市は、岩手県田野畑村以外にも、新潟県南魚沼市、静岡県藤枝市、群馬県富岡市と友好都市提携を結んでいます。 ・友好都市だけでなく、災害時の応援体制や、ふっかちゃんを通じたキャラクター同士のつながり、全国ねぎサミットに代表される、特産物を介した交流・連携なども行われています。 ・交流のある都市の小中学生との交流ができる事業については、南魚沼観光協会主催の『コンヒカリの郷 子ども自然体験村IN南魚沼』という事業があり、市も実施およびPRの協力をしています。 ・被災地の人々との交流や、ボランティアを通しての交流については、深谷市社会福祉協議会において、「深谷市災害ボランティア」を募集しており、被災した地域に派遣しています。また、深谷市赤十字奉仕団では、毎年、南魚沼市のイベントに参加し、地域の人々との交流を深めています。 	協働推進課	協働推進部長	—	
11	21	川本中学校	深谷市歌の市外へ向けたPRについて	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方のチャイムが市歌に変わったり、市歌を卒業式で歌ったり、多くの市民に市歌が知れ渡ったと思います。 ・市歌を市内だけでなく市外に広めたいので、深谷駅や岡部駅の発車メロディを市歌に変更し、深谷を通る人に市歌を知ってもらおうというのはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市歌は、深谷市誕生10周年の記念として、市民の郷土愛を盛り上げ、市全体のさらなる一体感を育み、市の発展につなげることを目的に、2015年11月22日に制定されました。 ・市民にPRするため、卒業式など市が主催する行事で市歌を歌ったり、市歌のCDを制作し販売や貸出などを行っています。 ・今年の4月から防災行政無線の夕方のチャイムを市歌に変更しました。 ・おねぎのマーチを採用して約10年が経過し、深谷駅の発車メロディとして定着していることから、現在のところ変更する予定はありません。 ・しかし、深谷駅や岡部駅以外にも秩父鉄道に4つの駅があり、来年には新しい駅ができる予定です。こうした状況を踏まえ、発車メロディ変更の機運が高まってきたら、改めて検討したいと考えています。 ・今後も、市民に心から愛され歌い継がれる市歌になるようPRを進めていきます。 	協働推進課	協働推進部長	—	
12	2	岡部中学校	深谷市全小中学校における余っている文房具を世界の子ども達に届ける寄付活動の提案について	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争等で家や家族を失い、食べる物も頼る人もいない子ども達を支援するため、寄附された文具などを届ける活動に参加しました。 ・自分達にも国際貢献が可能ということを知っていただくことで、継続的な支援ができると考えています。 ・この活動を市内の小中学校に広げたいと思い、提案します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、岡部中学校の生徒会での活動に広げたり、地域の仲間を巻き込み、ボランティアの輪を広げていって欲しいと思います。 ・市としては、そのような学校の素晴らしい取組を校長会などで広く周知したり、作成したチラシ等を各校に配布する手伝いをすることもできます。 ・広く世界に目をむけて貢献できるような高い志を持つ子ども達がたくさん育つように支援していきます。 	学校教育課	教育部長	<p>実際に生徒協議会の場で提案し、各校生徒会役員から賛成意見をいただきました。これを踏まえ、市全体で活動したいと考えた場合、具体的な回収・保管場所、分別方法などの問題があげられました。岡部中学校代表とさせていただきます。市としてどんなことができるのか考えさせていただきますが、市として、どのようにお考えでしょうか。</p>	既に積極的に活動されており、大変感心しました。具体的な方法について、どうすれば実行できるのか、生徒会や生徒協議会の各校代表の方と、さらに議論を深めていただくことを期待します。市としてどんなことができるのか考えさせていただきますが、市として、どのようにお考えでしょうか。
13	4	上柴中学校	深谷市の交通安全の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆずり合う心を持つことが交通事故の減少に繋がると思います。 ・交通事故を減らす努力をし、安心安全なまちとして信頼されることで、深谷を訪れる人が増加すると思います。 ・多くの人が交通安全の意識を持てるような看板の設置やPR活動を行ってみるといいと思います。 ・深谷市では交通安全についてどのような取り組みを行っていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議席番号3番の議員に回答したソフト事業のほか、広報や防災無線放送、ポスター、チラシ、メール等により交通ルール順守、マナー向上を積極的に呼びかけています。 ・ハード事業面においても街灯やガードレール、カーブミラー等の交通安全施設の整備を行っています。 ・こうしたソフト・ハード対策を進めてきたことで、埼玉県では交通事故の発生が多いものの、深谷市では年々人身事故件数が減少しています。 	道路管理課	都市整備部長	—	

平成29年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	答弁者	再質問	再質問の回答
14	6	南中学校	学校で起こる竜巻、強風などによって発生する問題について	・授業中や休み時間中に竜巻や強風による砂ぼこりが発生することがあります。体育などを行っている時、砂が当たって痛かったり、先が見えなくて危険な場面を経験したこともあります。 ・砂ぼこりを軽減させる設備を整える予定はありますか。また、自分たちで砂ぼこりがまわらないように水を頻繁にまくことは可能ですか。	・砂ぼこりを軽減するために、市では校庭の一部芝生化や畑への防風ネットの設置など、関係者と連携し対策をしているところですが、なかなか成果が見えにくいのが現状です。 ・砂ぼこりを軽減させる設備について、南中学校では3箇所の散水栓と散水台車1台を整備したほか、校庭の一部芝生化を行いました。 ・今回、設備を再確認したところ、故障や不具合が発見されたため、学校の考えも確認しながら効率的な水まきが行えるように対策を講じていきたいと考えています。 ・今後は、既存の散水栓を節水に努めながら効果的に活用してください。	教育施設課	教育部長	—	
15	8	豊里中学校	洪沢栄一を全国に知ってもらう方法について	・小・中学校で洪沢栄一を知ることで、論語やおもしろいなど、たくさんのお話を学ぶことができました。 ・洪沢栄一のことを他の地区の人や観光客の方にも知ってもらえれば、深谷市のPRにつながると思います。 ・深谷市では、洪沢栄一について全国的に知ってもらうため、何か行っていますか。	・洪沢栄一のふるさと「論語の里」で開催する行事について、ポスターやチラシを様々な機関へ配布し、ホームページやInstagramによる情報発信などを通じてお知らせしています。 ・新聞やテレビ、ラジオからの取材にも積極的に対応し、取り上げられることが多くなっています。 ・市内小中学校でも、副読本で洪沢栄一をはじめとした深谷の3偉人について学んでもらうことに力を入れています。皆さんが学んだことを活かし、一人一人がこれら偉人について様々な場面で情報発信してほしいと思います。 ・これからも積極的な情報発信を行い、洪沢栄一について、さらに多くの人々に知ってもらえるよう努めてまいります。	洪沢栄一記念館	教育部長	—	
16	10	藤沢中学校	若い世代に有権者の意識を高める取り組みについて	・若い世代の投票率が低い実態を知りました。 ・若い世代が有権者である意識をより高めるために、市としてどのような取組を行っていますか。	・選挙管理委員会では、若い世代の有権者の意識や投票率の向上に向けた取組を行っています。 ・成人式で啓発冊子を配布していることに加え、新たに有権者になった方に同様の冊子を自宅に郵送しています。 ・市内の高等学校において「選挙啓発出前講座」を開催し、選挙に関する講話を行うとともに生徒に模擬投票を体験していただいています。 ・市内の小中学校及び高校を対象とした全国明るい選挙啓発ポスターコンクールへの参加や学校の生徒会等の選挙の際に、本物の投票箱や記載台の貸し出しを行っています。 ・その他、市のホームページ・広報ふかやへの啓発記事の掲載、啓発チラシの新聞折り込み、市役所庁舎等に啓発懸垂幕の掲出など、取組を行っています。 ・今後も有権者に関心を持っていただけるような効果的な取組を検討し、若い世代の投票率だけでなく、全体の投票率の向上に努めます。	行政委員会	行政委員会事務局長	—	
17	12	深谷中学校	産業祭、宿場まつりなどの催しのパターン化について	・中山道周辺で行われる催しが、どの行事でも、出店しているお店や行っているイベントがほしい同じなのではないかと感じます。 ・催しの目的は、深谷市内外から人を集め、深谷の良さを知ってもらうことだと思います。 ・例えば、名産のねぎやチューリップを使ったギネス記録への挑戦やゆるキャラのパレードなど、催しごとにメインの大きなイベントをつくらせたいと思います。	・中山道周辺で行われる催しには、それぞれに目的があり、現在もその目的に沿った特徴を備えています。 ・それぞれが特色を出して集客しようとして、学び合っているために、似てくる内容も出てくるのではないかと思います。 ・今後も研究を重ね、目的に合った特色のあるイベントを実施できるようにしていきたいと思っています。	商工振興課	産業振興部長	—	
18	14	幡羅中学校	東京オリンピック・パラリンピックに向けた施策(深谷市のジュニア世代のスポーツ振興・支援)について	・東京オリンピック・パラリンピックが2020年に開催され、中学生や高校生、ジュニア世代などは今後の大会出場が期待されます。 ・サッカー部に所属していますが、雨が降ると水はけが悪く、十分な練習ができないことがあり、グラウンド環境がよくなればと感じたことがあります。 ・深谷市はジュニア世代のスポーツ振興のために、どのような支援を行っているのか、また、今後行っていくのか教えてください。	・東京オリンピック・パラリンピックに向けたジュニアスポーツ支援として、「深谷アスリートクラブ事業」を実施しています。 ・施設整備については、ビッグスタートルやパティオをはじめ大変充実した施設を整備してきました。 ・学校グラウンドの整備は、すべての学校施設の状況を総合的に判断し、バランスを見て検討していきたいと考えます。	生涯学習スポーツ振興課	教育部長	—	
19	16	明戸中学校	深谷市の環境美化について	・深谷市では、花や緑があふれる街をめざし、色々な活動をしています。明戸中学校でも「花はなプラン」など緑化活動を行っています。学区にゴミも少なく、環境が良いと思います。 ・しかし、市内を見ると、ゴミが落ちていたりするところもあるように感じます。 ・ゴミの問題や環境について、ゴミゼロ運動などはよく聞きますが、他にも深谷市で取り組んでいることはありますか。 ・私たちも深谷市の一員として手伝えるようなものがあれば教えてください。	・ゴミゼロ運動以外の取り組みとして、ゴミが捨てられた場所などに設置いただけるよう、自治会などへゴミのポイ捨てを防止するための啓発看板を配布しています。 ・また、河川の清掃などに取り組んでいる市民団体などと一緒に関心のある地域の環境美化を実施しています。 ・緑化活動としては、公共施設や道路脇などに花壇を作り、花苗を植え、管理までを行うガーデニングボランティアの活動が行われています。 ・これらの活動は、市としても重要な取り組みと考えているので、議員も積極的に参加していただければと思います。 ・皆さん一人ひとりがごみの排出量の削減を行っていただくことも、環境を守る立派な活動になりますので、ご協力をお願いします。	環境衛生課	環境水道部	—	

平成29年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問事項	回答要旨	担当課	答弁者	再質問	再質問の回答
20	18	東京成徳大学 深谷中学校	深谷市のPRについて	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市と言えば、ふっかちゃんのイメージがあり、様々なイベントを開催しています。ふっかちゃんの経済効果も大きいと思います。 ・深谷市には、ふっかちゃん以外にもPRできるものがたくさんあると思います。 ・現在、もしくは今後、ふっかちゃん以外にどんな方法で深谷市を全国にPRしようと考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふっかちゃんは、市外、県外の様々なイベントなどに出演し、深谷市のPRを行っています。その経済効果として、ふっかちゃんのデザインを使った関連商品の売上額は、平成28年度は約49億5千万円以上にのぼり、過去最高額となりました。 ・深谷市は野菜や花の生産が盛んであることを強みとして、現在、農業関連の団体と共に全国に向けて野菜や花等、農産物のPRをしています。 ・野菜や花以外にも、郷土の偉人渋沢栄一翁や深谷駅などの良いところがたくさんあるので、それらを上手に活用し、深谷市のPRを行っていきたいと考えます。 	協働推進課	協働推進部長	—	
21	20	花園中学校	深谷市内に建設予定のアウトレットモールについて	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトレットモールができれば、多くの人を訪れるため、治安が悪くなったりしないか心配です。 ・アウトレットモールの建設計画は順調なのでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きが長くかかっているため、当初のスケジュールより遅れていますが、新駅をはじめ着々と工事は進む予定です。 ・「花園IC拠点整備プロジェクト」は、多くの人に訪れていただき、深谷市をはじめとした県北全体が元気になることを目指す事業です。 ・多くの人を訪れ、治安の問題などありますが、地元警察などと協力し、安全で楽しくすごせる施設ができるよう努力してまいります。 	産業拠点整備室	産業拠点整備特命監	—	
22	22	川本中学校	川本地区のこれからの発展について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、私達川本中学校生徒会本部では川本地区の財産である歴史について何か発信できないかと考えています。具体的には「畠山重忠」「藤田雄山」「カルカロドンメガロンの菌の化石」などです。 ・深谷市として川本地区のこれからの発展のために、どのような展望をお持ちですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川本中学校の皆さんが歴史を発信することを考えていただいていると聞き、大変うれしく思います。 ・川本地区は自然環境にも恵まれ、荒川が流れ、自然と親しめるレクリエーション施設があり、地域経済の活性化や雇用の場として重要な役割を担っている春日丘工業団地があります。 ・それらは川本地区が持つ魅力や特徴であるため、今後もそれらを大事に守り育てながら次の世代の皆さんに引き継いでいきたいと考えます。 ・花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトを進めることで、川本地区を含めた地域の活性化に繋がるものと考えています。 ・今後も川本地区がより元気になるような取組を進め、深谷市全体が元気で活気にあふれるまちづくりを進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。 	企画課	企画財政部長	—	